



～お知らせ～

11月に入りめっきり寒くなってきました。毎年この時期に受注する境界標設置業務で現場に出向くことが多くなるかと思います。例年に増して熊の出没が多くなっています。熊鈴等を携帯し十分に注意してください。



先日、整備局用地部と補償コン新潟県部会との担当技術者意見交換会が開催されました。整備局からのプレゼンの中に「監督職員の意見等」として受託者に対する改善要望の説明があったので紹介します。業務の参考にしてください。「打合せは手戻りとならないタイミングで」、「事故が無いよう一層の再確認を」、「作業の進捗に応じた業務数量管理を」、「記録簿作成は分かりやすく」など。詳しくは社内イントラを見てください。

先月26日（日曜）に補償業務管理士検定試験の筆記試験が行われました。今年度の受験者数は延べで150人弱、昨年度よりもやや少なく、ようやくパンデミックの影響もなくなってきたようです。来年度からは受験資格の緩和が検討されているので実現すれば受験者数がどっと増えるのではなかとと思います。例年の共通科目検定試験は、5月に義務付け研修、10月に筆記試験、翌年2月に口述試験という流れになります。これから資格の取得を考えている方は早めのご準備を。

大阪・関西万博に行ってきましたか？ 大阪市此花区の人工島「夢洲（ゆめしま）」で開催された大阪・関西万博は10月13日に184日間の会期を終え、閉幕しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、165の国・地域・国際機関が参加し運営する日本国際博覧会協会（万博協会）によると、12日時点での一般の入場者数は速報値で約2,529万人。2005年の愛知万博（愛・地球博）の2,205万人は上回ったが万博協会が当初、想定していた2,820万人には届きませんでした。

関西と言えば先日、新聞でこんな記事を見つけました。「関西の人はなぜ阪急電車とか阪神電車っていうの？」東京では東急線や西武線などと「線」を付けて呼ぶのに関西では「電車」と呼びます。確かに何でやろう？

そのほかにも関西と関東の違いを挙げてみると

○関東の場合、多くが先頭または最後尾の車両が女性専用。一方、関西では中央寄りの車両に設置されていることが多い。

○「エスカレーターのどちらに立つか」も違いのひとつ。関東では左側に立ち、関西では右側に立つのが一般的。

○日常的に使用する醤油の種類が異なる。インスタントうどん・そばも関西と関東で味が異なる。関西は薄口醤油が一般的で、色が薄く上品さがある。関東は濃い口醤油が代表的で、色が濃く、旨味がしっかりときいた味わいをしている。

○関東では豚肉を使用した中華まんのことを「肉まん」と呼ぶが、関西では通じない。関西では「豚まん」と呼ぶのが一般的。関西では肉＝牛肉をイメージする傾向にあり豚肉を使用している時点で「肉まん」と呼ぶことに違和感を覚える人が多いのでは。

○居酒屋文化についても、意識すると関西と関東の細かな違いに気づくことがある。例えば関東では主に「お通し」として出される小鉢が、関西では「突き出し」または「先付け」と呼ばれている。

○夏の風物詩（？）のひとつともいえる「蚊」。夏から秋にかけて増えブーンという音とともに私たちのもとへやって来るが、そんな蚊に血を吸われたときの言い方も関東と関西では異なる。関東では「蚊に刺された」というのに対し、関西では「蚊に噛まれた」ということが多い。地域によっては「蚊に食われた」というところもあるみたいだが、蚊からすると皮膚に口器（針）を刺して・噛み付いて、血を吸いあげるのだからどちらも間違った表現ではないのかもしれない。

いずれにしても関西と関東の違いは、どちらが優れているというわけではなく、歴史や土壌などさまざまな理由によって異なる文化が形成されています。両者の違いをあらかじめ知っておくと、文化の違いを楽しめるのではないのでしょうか。

人事異動 11月1日付け		
富山支店	渋田 基樹	採用

寒さが厳しくなってきました。健康の管理を ！



「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

①昼休みや16時以降開始の打合せは行わない

②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない

③休前日（金曜日）は新たな依頼をしない

④ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない

⑤ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング

⑥イブニング・ノーリクエスト（R5. 6から）



○必見！ ホームページをご覧ください！ 新たな情報等があれば教えて下さい

www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い！ 「クロジカ」（旧Aipo）を活用しましょう